

各 位

2026年3月18日
株式会社インプレス

無料で機能豊富なデザインツール「Affinity」の入門書 『Affinity 入門 無料ではじめるプロ並みデザイン』を3月18日（水）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、無料で利用でき機能も豊富なデザインツール「Affinity（アフィニティ）」のやさしい解説書『Affinity入門 無料ではじめるプロ並みデザイン』を2026年3月18日（水）に発売いたします。



■機能豊富なのに無料！ デザインツールに新たな選択肢が登場

デザインツールといえば、Adobe社のCreative Cloudが大定番です。また最近では、ノンデザイナーでも扱いやすく無料で使えるCanvaもユーザーを増やしています。しかし、「サブスク型アプリの有料プランは負担が大きい」「Canvaの機能では少し物足りない」などと感じている人も少なくありません。

そこに新たな選択肢となるのが「Affinity」です。Affinityは、画像編集からベクターデータの編集、ページ機能など多岐にわたる機能が無料で使える、画期的なオールインワンのデザインツールです。Affinityはこれまで画像編集に特化した「Affinity Photo」、ベクター編集に特化した「Affinity Designer」、そしてページレイアウトに特化した「Affinity Publisher」がそれぞれ買い切りの高機能デザインソフトとして親しまれてきましたが、2025年10月よりこれらが一元化され完全無料化されたこと、さらにCanvaとの連携が強化されたことが大きな話題となりました。

■3つのスタジオを使いこなし、Canva連携でさらに便利に

本書は、デザイン初心者・入門者向けに、Affinityの3つのメイン機能である「ピクセル（画像編集）」「ベクター（イラストレーション）」「レイアウト（ドキュメント作成）」の使い方をわかりやすく解説しています。各機能でどのようなことができるか、どのような成果物を作れるかがイメージしやすい作例を使った機能解説の他、実践編として実際のデザイン業務でよく行われる写真補正やロゴ、配信用サムネイル、チラシ制作の方法などを掲載。さらに、ピクセル・ベクター・レイアウトを1つの画面内でシームレスに切り替えられる機能を活かすノウハウやCanvaとの連携方法、AI機能なども解説しています。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・無料でプロ並みのデザインをしたい方
- ・Canva では難しい細かい写真加工や色調補正がしたい方
- ・Canva と組み合わせて、ワンランク上のデザインを目指したい方
- ・趣味や副業として手軽にデザインしたい方
- ・デザインに対する意欲がある学生や、デザイン業務でのコスト削減を目指す企業

■紙面イメージ

Chapter 1
02 多数の機能をひとつのアプリで

Affinityの大きな特徴のひとつに、異なる性質のスタジオをアプリ内で切り替えられることが挙げられます。別アプリがひとつにまとまったような操作感です。

All in one!

- ベクター
- ピクセル
- レイアウト
- Canva AI
- スライス
- レタッチ中
- カラーグレーディング
- Compositing
- タイポグラフィ

- ✓ひとつのアプリ内ですべての機能が使える
- ✓別アプリのインストールや起動が不要
- ✓スタジオの作成も可能

スタジオの切り替えはワンクリック



文字組や色調補正に特化したスタジオも

Canva AI	生成 AI 機能
スライス	Web 用の画像書き出し
レタッチ	写真の細かいレタッチ関連の機能
カラーグレーディング	写真の色味やエフェクト関連の機能
タイポグラフィ	文字の装飾や文字組
Compositing	合成画像の作成

初期設定では「ベクター」[ピクセル]「レイアウト」[Canva AI]の4つのスタジオが表示されていますが、他にも特徴的なスタジオが用意されていて、「スタジオマネージャー」でよく行う作業に合わせて表示のカスタムが可能です。

Point
最新ツールやパレットも自動で設定して、オリジナルスタジオとして登録も可能です。

check Adobe CCでは目的別にアプリの使い分けが必要

Adobe CCでは、画像編集（ピクセル）はPhotoshop、ベクター編集（ベクター）はIllustrator、ページの編集（レイアウト）にはInDesignと、目的によってアプリを切り替える必要があり、それぞれのアプリで何ができて何ができないかの知識やアプリごとのスキル習得が必要です。その分、Affinityではできない便利な機能も多く、ひとつにまとめることは困難でしょう。どちらが優れているということではなく、双方の特徴を併せて、目的によって使い分けるよいでしょう。

基本機能やインストール方法を丁寧に解説しており、Affinityを初めて使う人も安心。

Chapter 2
03 露出で全体を明るくする

「露出」は画像の明るさを調整する機能です。画像全体の明るさの底上げや引き下げを行い、視認性を向上させられます。

Before → After

- ✓写真の明るさを直感的に調整できる
- ✓白飛びや黒つぶれを防ぐ

暗い写真を明るくする



表示された「露出」ダイアログの「露出」スライダーを調整します。数値を上げれば画像が明るく、下げれば暗く調整されます。ここでは画像を明るくするため、「露出」の数値を1に設定しました。

Point
「露出」の数値を上げすぎると、写真が白飛びしてしまうので注意しましょう。

「露出」ダイアログを閉じたら完成です。全体の暗さがなくなり、明るく見やすい写真になりました。



check 調整レイヤーを初期設定に戻したい場合

「露出」ダイアログ右上の「リセット」をクリックすると、スライダーがすべて初期設定に戻ります。

「ピクセル」では画像補正や加工の方法を、ビジュアルとともにわかりやすく解説。

Chapter 3
01 ベクターデータとは

ベクターデータを活用することで、デザインの幅がぐっと広がります。ここではまずベクターデータとは何かについて解説します。

ベクターデータとは

ベクターで作成する線を「ベクターデータ」や「ベジェ曲線」といいます。一方で、画像を縮小しても画質が損なわれず、曲線も滑らかに繋がるのが特徴で、ロゴやシンプルなイラスト、印刷物のレイアウト作業といった図形的な線画に向いています。一方で、画像を縮小などピクセルの集まりとして構成する「ラスターデータ（ピクセルデータ）」と比べて、複雑な色表現や自然なぼかし表現は苦手です。目的に合わせて上手に使い分けましょう。

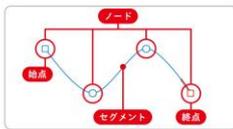
Point

ベクターを使えば、Canvaでは難しい素材の複製なども簡単にできるようになります。ぜひマスターしましょう。



ベクターの基本構成

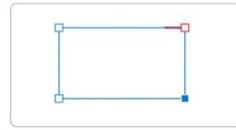
ベクターでは、主に「カーブ」「シェイプ」ノードを使って図形を作成します。「カーブ」とは個別の始点と終点を持つ開いたセグメント（線、パス）のことです。始点と終点は「ノード」という点によって決められます。2つのノードを持つカーブを「ライン」といいます。また、始点と終点が繋がっていない閉じられたセグメントのことを「シェイプ」といいます。



「シェイプ」とは閉じたセグメントのことで、主に図形を指します。カーブと異なり始点と終点の区別がなく、複数のノードとセグメントでできています。

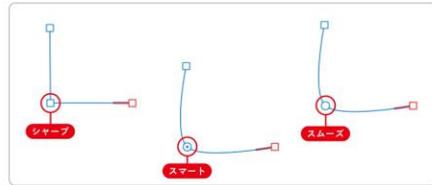
Point

Affinityには幾何学的なシェイプなどを簡単に作成できる「シェイプツール」(P124)もあります。



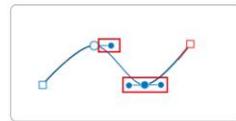
ノードの種類

ノードには3つのタイプがあります。「シャープ」は角ばったカーブになり、「ベジェ（スムーズ）」は連続的なカーブになります。「スマート」はベジェと似て連続的なカーブを作りますが、自動で自然なカーブに調整されます。ノードを組み合わせて、自由にカーブを描画できます。



制御ハンドル

各ノードには「制御ハンドル」があります。制御ハンドルの長さやスロープによって、セグメントの形状が決まります。制御ハンドルはノードを選択すると表示されます。



3 ベクターでイラストを作成する

デザイン初心者がつまづきやすい「ベクター」も、基本の使い方から丁寧に解説。

Chapter 4
実践 1 チラシを作ってみよう

学んできた内容を組み合わせてデザインを制作してみましょう。今回はカフェのメニュー表をテーマとしたチラシデザインを制作します。ピクセル、ベクター、レイアウトスタジオをまたがって制作しますので、各ページの解説を参照しながらチャレンジしてみてください。

本作例は以下のパートごとに分けて解説します。

- ① 背景
- ② タイトル周り
- ③ 見出し
- ④ 商品画像と説明文
- ⑤ 色調補正

✔ レイアウトで学んだ様々な知識を応用する

① 背景

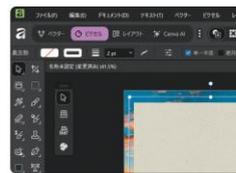
ピクセルスタジオでA4サイズ／縦の新規ドキュメントを作成し、背景となる画像と紙のテクスチャ画像をアートボードより少し縮小して配置。おおよそのサイズ感を決めます。背景と紙のテクスチャの間に白い罫線を配置するため、「長方形ツール」を使用して2画像の中間サイズになる長方形を作成します。



「レイヤー」パネルで作成した長方形を選択し、コンテキストツールバーで塗りつぶし、境界線を設定します。今回は「塗りつぶし」を非表示に、「境界線」を白に設定します。塗りつぶしをクリックし、表示されたパネルの右上にある赤の斜線のアイコンをクリックすると、塗りつぶしが非表示になります。



長方形の塗りつぶしが非表示となり、外枠の境界線だけが白く罫線として残りました。



4 レイアウトでイラストを作成する

「レイアウト」の実践編ではチラシの作成方法を紹介します。

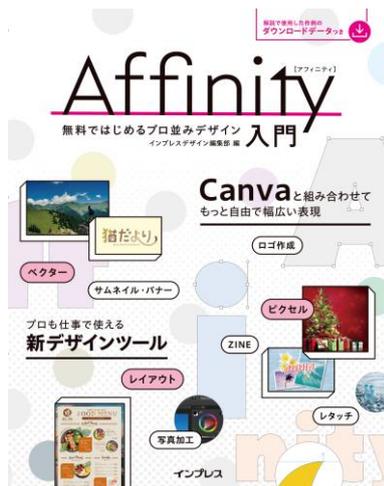
■ 購入者ダウンロード特典

購入者特典として、本書の解説や各章の「実践」ページで使った作例データ（Affinity形式）をダウンロードできます。作例データを使って、紙面と同じように手を動かしながら学ぶことができます。

■ 本書の構成

- Chapter1 : Affinityの基本
- Chapter2 : ピクセルで画像を加工する
- Chapter3 : ベクターでイラストを作成する
- Chapter4 : レイアウトでドキュメントを作成する
- Chapter5 : Canvaとの連携と応用テクニック

■書誌情報



書名：Affinity入門 無料ではじめるプロ並みデザイン

著者：インプレスデザイン編集部

発売日：2026年3月18日（水）

ページ数：224ページ

サイズ：B5変形判

定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）

電子版価格：2,420円（本体2,200円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02409-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295024090/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101140>

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。